



ゆりはまにあ

2019年9月20日発行

湯梨浜町観光協会

〒682-0715 鳥取県東伯郡湯梨浜町はつみ温泉5-22

TEL(0858)35-4052 FAX(0858)35-4701

H P <http://www.yurihama-kankou.jp/>

F B <https://www.facebook.com/yurihamakannkou>

湯梨浜町観光協会  会員募集中!!

第19回東郷湖ドラゴンカヌー大会

東郷湖を舞台に熱い戦い

◆8月25日(日)東郷湖を舞台に「第19回東郷湖ドラゴンカヌー大会」がハワイ夢広場をメイン会場に行われ、ジュニアカップ(ファミリー・中学生)・レディースカップ・チャレンジカップ・ゆりはまカップ・TOGOカップに加え、一人でもエントリーしてチームを組むことができるオープン参加の6部門全61チーム686人が参加し、直線200mの着順及びブタイムを競いました。



ドラゴンカヌー大会は、日本語では「龍舟競漕」と呼ばれる中国で生まれた手漕ぎ舟の競漕で、今から約400年前に琉球から長崎へ伝わり、沖縄では「ハーリー」長崎では「ペーロン」と呼ばれています。

1976年香港国際龍舟祭りでスポーツ競技化され、日本では1988年大阪で日本国際龍舟選手権大会が誕生し、急速にドラゴンボート人気が高まってきました。湯梨浜町においては、2000年東郷湖にカヌーセンターが竣工したのを記念し、鳥取県ドラゴンカヌー協会がドラゴンカヌー大会を開催。翌年、当時の東郷町・羽合町・泊村の交流を目的に「東郷湖ドラゴンカヌー大会」が開催されました。



現在では県内外より幅広い年齢層の参加者があり、ドラゴンカヌーがこの地で大きく育っています。

前日の雨から一転、快晴に恵まれた当日のカヌー艇庫周辺では早朝からスタッフが準備に大忙し。この日に合わせて浮桟橋を設置し、ドラゴン艇へのよりスムーズな乗り降りを目指しました。

7時45分、各チームの代表者に注意事項が伝えられいよいよ開会式です。

吉岡学実行委員長による大会宣言の後、宮脇正道湯梨浜町長より歓迎の言葉をいただき、力強い選手宣誓で大会がスタートしました。競技は1クルー10名(船長(太鼓)1名・舵取1名・漕ぎ手8名)で構成され、直線200mレースで行われます。予選レースのトップはジュニアカップの中学生。

緊張した面持ちで艇に乗り込んだ中学生も、配艇係から「いってらっしゃい。楽しんできて♪」と声を掛けられると思わずガッツポーズ(p`・ω`・q)

スタート地点手前より「発艇3分前」のアナウンス。各チームの名前が呼ばれ、心の中で「ヨシ!やるぞ～」と自分自身で意思確認をすると、メラメラと闘志が湧き上がってきます。



再びのアナウンス、「発艇1分前」。

スタート地点で艇を静止。静まり返る湖上、聞こえるのは風に揺れるわずかな波の音だけ。パドルの先をじっと見つめ、耳をすまして集中、集中……。

「レディー ゴー!!!」各艇が勢いよく一斉にスタートしました。

「ソーレ、ソーレ」「イチニ、イチニ」太鼓の音と掛け声に合わせて、必死に船を漕ぎ進めます。ぐっと歯を食いしばりながら進む100m地点。200mレースでは肉体的にも精神的にもここが一番の難所なのですが、沿道からの温かな声援を受けゴールに向かって突き進んでいきました。ゴールをむかえると、選手も応援団もキラキラと輝く笑顔でいっぱい。

上位入賞を目指すチームも、賑やかに楽しく漕いだチームも、乗り手と漕ぎ手が一心同体となりドラゴンカヌーという団体スポーツを通じて多くの学びがあったようです。

そして、カヌー出場者の控え場所であるハワイ夢広場の中央には何やら四角いリングが(´◡`)/これはまさか。

この度、令和元年大会を記念し、東郷湖ドラゴンカヌー大会のアトラクションとして、鳥取県全体で興行を主体としている社会人プロレス団体「鳥取だらずプロレス」をゲストに迎えました。

特設リングより第1部と第2部でファイト!

存在感のあるレスラー達の派手な大技に会場から大歓声、時には笑いあり♪そして真剣勝負のあまり?!レスラーがドラゴンカヌーの浮桟橋にまで移動する場面も(・o・) ※その後はご想像にお任せいたします。ハラハラドキドキするエンターティナー鳥取だらずプロレスは、鳥取を活性化するために県内外で幅広く活躍されています。

朝8時20分から始まった予選レース、敗者復活戦レース、セミファイナルレース、そして各クラスのファイナルレースが次々にスタート。そして一番のツワモノが出場するTOGOカップファイナルレースでは、「しげる」チームが、1分13秒14という好タイムで15年振りに優勝を果たしました。ドラゴンカヌーは、大会のみならず体験教室や県外からの教育旅行受け入れも積極的に行っており、年々実績も増え、ますます目が離せない団体スポーツです。

8月18日には、同会場にて東郷湖初!ハワイ生まれの新感覚アクティビティであるSUPの全国大会が行われ、別の視点でより多くの人に東郷湖の魅力を伝えることができました。今後も、東郷湖の一層の活用策に期待したいと思っております。





湯梨浜で徒步行進訓練実施

◆9月5日(木) 陸上自衛隊米子駐屯地第8普通科連隊第3中隊による湯梨浜町内の徒步行進訓練が行われました。

これは、昼間から夜間における徒步行進能力の向上を図るとともに、道路・地形を把握し災害時の救助・支援活動を行うための自衛隊の訓練です。

中隊は米子駐屯地から自衛隊車両で移動し、出発点である宇野公園に車両8両と70名が到着。全員が迷彩服を着用し、鉄帽(ヘルメット)・背のう(大型リュック)・武器(小銃、銃剣等/弾薬なし)等を装備し、朝9時30分から夜9時まで「徒步行進経路要図」に基づき約3.4kmの道のりを力強い足取りで進んでいかれました。



実はこの装備品「とにかく重い(。d_」)のです。これら一式貸与されているのは「戦闘装備セット」と呼ばれるもので、小銃や個人携行品全て合わせると自分自身の体重以外に20kg~30kgの付加が掛かるとか。地形を知るために設定されたルートには平坦な道だけでなく当然山道もあります。



この道のりを昼夜歩いていかれるのですから頭が下がる思いです。自分自身が過酷な状況に立たされたとき、いかに冷静な判断で災害救助活動にあたることができるのか。これもまた訓練なのだそうです。出発から9.7kmの中休止地点である「大平山公園」に待機し、お邪魔にならない程度にお話を伺うことができました。

駐車場内には安全班が待機、やがて行進する一行が見えてきました。

この日の気温34度、暑さと疲労で真っ赤になった顔からは大量の汗。それでも笑顔で「こんにちは」と声を掛けてくださいました。広場に到着すると各グループの健康状態を小隊長に報告、全体指揮をとる中隊長の指示で出発時間が告げられ、束の間の昼食タイムです。

と、なると「自衛隊のごはん」が気になります。一体どんなものを食べているの? 美味しいの? 普段は駐屯地や基地の食堂で食事ができますが、このような訓練や災害派遣活動等では、衛生的で持ち運びがしやすく、必要なカロリーが摂取でき栄養バランスにも優れた「戦闘糧食Ⅱ型」を携行しておられました。一食分が軍用塗装として馴染みのあるOD色(オリーブドラフ)の袋にパッケージングされており、この色は行動中に草むらに廃棄しても目立たないようにするためののだとか。さらに、長時間移動する際に摩擦や衝撃で開かないようかなり高い密閉性があるようです。



一般的に「コンバット・レーション」と呼ばれる携帯食料には2種類あり、缶詰タイプの戦闘糧食Ⅰ型(通称 缶飯)と、レトルトパウチ包装の戦闘糧食Ⅱ型(通称 パック飯)で、缶飯が約3年、パック飯は約1年の保存が可能なのだそう。さて中身は? (=´▽´=) 白飯・赤飯・中華風カルビ・ソーセージなど。プラスチックの先割れスプーンも入っているという手間要らず♪調べてみますと、通常は米飯パック2+副食1~2がセットになっているそうです。その他ソフト麺もお持ちで、別袋のソースをソフト麺にかけてスパゲティミートソース風にして豪快に口の中へ。美味しそう~(´▽`)/ わずかな時間でいかに効率的に食事をとるか これもまた訓練なのでしょう。



見た目・香り共 市販のレトルト食品と変わりなく思いましたが、カロリーは約1100kcalと少々高め。

彼らの活動を支えるための「食」はかなり重要で、調理行程・素材の良さや栄養素にもこだわりがあるようです。

ある方に質問をしました。「自分自身が精神的にも肉体的にも極限まで辛くなったときどのようにして奮起されるのですか?」すると「自分は“ヒーローなんだ”って思うことにしています 皆に慕われて頼りにされるヒーローは強くないといけないから。以前そう教わったことがあり、それ以降辛いときはヒーローになりきるようにしています」なるほど! それは訓練に限らず私たちにも出来そうです。

あっという間の中休止、中隊の皆さんは準備・整列後 右側一列縦隊で残り約22kmをしっかりとした足取りで進んで行かれました。

5月には北栄町で実施され、今回初の湯梨浜町徒步行進訓練となりました。近年、自然災害をはじめとした予期せぬ事態も増えており、湯梨浜町でも水害・土砂災害・地震・津波によって起こる浸水の想定危険箇所等を記した防災マップが改定されました。もしもの時に備え、自宅周辺の地理や避難設備の位置を確認し、避難時の行動を話し合うなどの心がけが大切です。



災害等発生時応援協力に関する協定締結式 地元住民に安心を提供

◆9月17日(火) 湯梨浜町役場にて、はわい温泉・東郷温泉旅館組合と湯梨浜町とが災害等発生時応援協力に関する協定を締結しました。湯梨浜町から趣旨説明の後、宮脇正道湯梨浜町長、中島伸之はわい温泉・東郷温泉旅館組合長が協定書に署名・押印しました。この協定により、災害時 高齢者や妊産婦など要配慮者や帰宅困難となった地域住民や観光客に対して、旅館組合



が宿泊と入浴、食事の提供や湯梨浜町備蓄品倉庫に不足が生じた際の備蓄に関する応援協力をし、迅速な対応ができる体制が整いました。

町の資源である温泉(入浴)を利用した旅館・ホテルからの協力体制は地域住民にとって大変心強いもの。

安心・安全を提供すると共に、防災意識を高めるきっかけにもなりました。

コウノトリペア ♥ 仲睦まじく 9月半は湯梨浜町内にて



◆国の天然記念物に指定されているメスのコウノトリ（2018年3月30日/豊岡市赤石巣塔生）が、今年の4月～6月に湯梨浜町内に飛来しており、その後7月後半にオスのコウノトリ（2018年4月16日/豊岡市出石町派袴狭（はかざ）巣塔生）と一緒に飛来。そして9月半ば、町民より新たな目撃情報が寄せられました。前回目撃された場所とは別の場所に2羽が仲睦まじく過ごしているとのこと。（写真提供）残念ながら足環の確認まではできませんでしたが、7月に目撃された2羽ではないかと推測。田んぼだけでなく電線の上にも移動(*´ロ*`)これはまさか？！

見ているこちらがハラハラしてしまいそうな高さですが、元々は温原に面した大木の上（主にマツ）に巣を作るコウノトリ、近年伐採による営巣木の減少により私たちが生活する地域にも巣を作るようになりました。令和元年度現在、日本の野外コウノトリは140羽生息しており全国各地で飛来が確認されています。今後もまちで温かく見守り、引き続き皆さまの理解と協力をよろしくお願いいたします。



ハワイ生まれハワイ育ちの国際交流員 はじめまして♪ダニエル・マツダです



◆湯梨浜町の国際交流員として8月より来町したダニエル・マツダさん。日系4世 22歳のアメリカ人で、ハワイ島のワイメア町で18歳まで生活し、大学時代はアメリカ本土のミネソタ州でアジア研究を専攻、政治学や日本国のエネルギー政策などを学ばれました。東京・京都・大阪で生活されていた経験もあり、日本語は大変お上手。そんな爽やか好青年のダニエル・マツダさんにインタビュー((pq..))♪

■ハワイ生まれのハワイ育ちのダニエルさん、ウクレレやサーフィンはできるの？
 「ウクレレは小学校の授業で習い、演奏会もありました」 ■今でも弾ける？ 「・・・今は自信がないかなあ、覚えているかどうか（汗）」 ■大阪のご家庭に当たり前のようにタコ焼き器があるようにどの家庭にもウクレレがあるの？ 「全てではないですが、だいたいありますよ」 ■サーフィンは？ 「昔やったことはあるのですが、バランスが難しく（汗）あきらめました(> ^ <)あ、でも父はSUPが大好きです」 ※東郷湖でもSUPができることを伝えると驚いておられました。 ■特技は何ですか？ 「ヒップホップダンスです！大学時代にやっていました」 意外！！今度ぜひ披露していただきたいですね。 ■ハワイでの“思い出ご飯”は何ですか？ 「Lau Lau(ラウラウ)です ハワイに帰ったら必ず食べますが、日本では食べていないです たまに食べたくなりますね」 ラウラウとは、豚肉や魚などの具材をタロイモとティの葉（名前：ティ/キー/ティーリーフ）で包んで蒸し焼きにしたハワイの伝統料理です。ティといってもお茶の葉のことではなく、葉を編んでレイやフラの衣装であるスカートを作ったりとハワイでは欠かすことのできない神聖な植物です。ラウラウは、最近ではオーブンで焼き上げますが、伝統的な調理法ではイモと呼ばれる土の中のオーブンを使うそうです。低温でじっくり焼き上げるので、タロイモの葉も柔らかくなり具材と一緒に食べられるそうです。美味しそう～♪どこかの店舗がLau Lau 湯梨浜バージョンを作ってくれないかなあ。 ■町の印象はどうですか？ 「住民の皆さんが優しく声をかけてくださるので本当に嬉しく思っています 今後は湯梨浜町での生活や仕事を通じて様々なイベントに積極的に参加して、多くの人に出会い、日本とハワイの友好関係に役立ちたいと思っています」と語って下さいました。

日本で好きな食べ物は「すし」。中でも「イクラ」が大好物なダニエルさん。これからの季節は鳥取の「カニ」をはじめ、湯梨浜の食や文化、歴史にふれて広く活躍して欲しいと願っています。

★はたらく車展示★
消防・警察・自衛隊車両がやってくる

★ちびっこ広場★
楽しい遊具がいっぱい

★バルーンアート★
鳥取大学バルーンアートサークルの皆さんがやって来るよ

★屋台村コーナー★
・貝殻フィッシュバーガー
・牛骨ラーメン
・ゆりはまアイス
・やきそば・せんべい他

★プチまちゼミ★
10/10から始まる湯梨浜まちゼミをいち早く体験してみよう。
アイシングクッキー/シジミストラップ/車椅子体験/プレスレット作り他

★★★大抽選会★★★13:30～
当たって嬉しい景品多数！！

特賞 ゆりはま商品券 30,000円

当日会場にてご応募ください。どなたでも応募できますが、抽選時にいらっしやらない場合は無効になります。

お問合せ/湯梨浜町商工会
(0858) 32-0854

★ステージショー★
・フラダンス
・わかばこども園出し物
・あさひこども園出し物
・太鼓演奏 他

★企業紹介コーナー★
パネル展示などで詳しく紹介

★キッズ職業体験★
仕出しやさん、大工さん、アーティストなど子どもたちが職業体験♪

湯梨浜町合併⑮周年記念式典共同開催

ゆりはま商工フェスタ

令和元年10月6日(日)

会場 ハワイアロハホール

10時～14時

蟹取県 ウェルカニキャンペーン

宿泊して蟹を当てる？
 写真を撮って蟹 or グッズを当てる？
 クイズに答えて蟹 or グッズを当てる？

●応募期間 ●2019年9月1日(日)
 ~2020年2月29日(土)



◆カニ水揚量日本一の鳥取県が今年もウェルカニキャンペーンを実施します。
 9月～翌年6月までは鮮やかな紅色が特徴の「ベニズワイガニ」、11月～翌年3月までは鳥取を代表する冬の味覚の王様「松葉ガニ」が毎月抽選で100名様に当たりますよ。さあ、どのチャレンジで応募する？

★宿泊チャレンジ★

期間中、県内対象宿泊施設に泊まって応募しよう。応募者の中から抽選で毎月100名様(総勢600名)に鳥取の旬のカニをプレゼントします。

★フォトラリーチャレンジ★

指定された県内11カ所の観光地のうち、3カ所以上を巡って各地で撮影した思い出写真をSNS(Instagram又はTwitter)にハッシュタグ(#蟹取県#ウェルカニチャレンジ)をつけて投稿しよう。投稿者の中から抽選で「鳥取の旬のカニ」「蟹取県の名産品詰合せ」「蟹取県オリジナルグッズ」をプレゼントします。

▲対象観光地/11カ所▲

西部エリア (境漁港・水木しげるロード・とっとり花回廊・大山)
中部エリア (コナン通り・倉吉白壁土蔵群・中国庭園燕趙園)
東部エリア (白兔神社・かろいち/とっとり賀露かにっこ館・鳥取砂丘・恋山形駅)

★カニトリ体操でチャレンジ★

人気お笑いタレント“ひょっこりはん”によるカニトリ体操動画をキャンペーンサイトやSNS(Twitter)で配信しよう。SNS(Twitter)で、カニトリ体操動画と連動した蟹取県クイズを毎月出題し、正解者の中から毎月抽選で「鳥取の旬のカニ」、「蟹取県の名産品詰合せ」や「蟹取県オリジナルグッズ」をプレゼントします。

詳しくはWEBで <https://www.kanitoriken.jp/>
 鳥取県庁観光戦略課 (TEL: 0857-26-7237)

***** ★秋の大好評企画★ゆりはまを歩いて当てちゃおう♪

ウォーキングスタンプラリー

(期間) 9月1日(日)
 ~11月30日(土)

◆湯梨浜町内を楽しく歩こう♪
 ウォーキングスタンプラリーコース内の「謎解き協力店舗」に表示されている文字を繋ぎ合わせると、ある言葉が(≧▽≦☆)その文字を書いて応募すると、抽選で素敵な賞品が当たります。宿泊証明印、スタンプのないものは無効となりますのでご注意ください。コースは2種類ありますよ。風光明媚な東郷湖畔をウォーキングして深まる秋の自然をお楽しみ下さい。



1 東郷湖を巡る道(約12km) 2 昭和レトロと出逢う道(約5km)

A賞 旅館・ホテルに宿泊し、どちらか1コースを歩いて応募する

- はわい温泉・東郷温泉ペア宿泊券 30,000円分×2本
- げんき梅ギフトセット 3,000円相当×5本
- 東郷湖産しじみ1kg×10本

B賞 2コース両方を歩いて応募する

- はわい温泉・東郷温泉ペア宿泊券 30,000円分×1本
- 食事券(湯梨浜町内指定店) 3,000円×10本
- ゆアシス東郷龍鳳閣中国風呂/ハワイゆ〜たうん共通無料入浴券 15本

[問合せ]湯梨浜町商工会 (0858) 32-0854

湯梨浜イベント情報

「松崎名物 三八市」

戦前は「八月市」の名称で、稲を掛けるための竹の売買を主として賑やかに開催されていた市で、現在は10月の3と8の付く日に開催されている「三八市」。

昔の市を復活させただけでなく、年齢・性別・国境も越えて皆が楽しめる手作り朝市として人気が高まっています。

[開催]10月3日(木)・8日(火)・13日(日)・18日(金)・23日(水)・28日(月)

[時間]9:00~12:00 雨天決行

[会場]松崎三八市通り

[問合せ]090-7779-6175(野口)

湯「第6回ゆりはま天女ウォーク」

[開催]10月13日(日) **事前申込締め切り 10/4(金)**

[時間・コース] 雨天決行

Aコース(14km) 歴史と神話の道/チャンピオンコース

★史跡や神話が由来の場所がコース上にあり見どころ満載!海・山・湖全てを堪能できるコースです。

Bコース(12km) 東郷湖を巡る道/アベレージコース

★コースの途中では鬼嫁の里でおもてなし。湖畔を歩きながら疲れたら足湯でほっこり。

Cコース(5km) 出雲山へてくてくの道/ビギナーコース

A・Bコース 受付7:40 出発式8:30

Cコース 受付9:00 出発式10:00

[主会場]ハワイ夢広場 Pあり無料

[参加料]事前申込 一般大人1,000円

当日申込 一般大人1,200円

※高校生以下無料、傷害保険加入、記念品等はつきません。

[おもてなし]オリジナルタオル、入浴剤、梨、しじみ汁、完歩証、おもてなし利用券400円分、梅酢ジュース、龍鳳閣ハワイゆ〜たうん共通無料入浴券、中国庭園燕趙園無料入園券、ガラポン(出雲山展望台)、ささえのつぼ焼き(Aコースのみ)、鬼嫁の里にておもてなし(有料)・歓迎アトラクション(フラダンス)

※天女からの贈りもの弁当(870円税込)の斡旋あり

[申込方法]大会申込振替用紙に必要事項をご記入の上参加費を最寄りの郵便局よりお支払いください。

★観光案内所等に振替用紙がございます。その他お

[問合せ] ゆりはま天女ウォーク実行委員会まで

(0858)24-5725 平日9:00~17:00

「天女桜ガーデニングボランティア大募集」

桜コミュニティ施設に植樹された天女桜(宇宙桜)とその周辺の桜を四季折々の花で彩るコミュニティ・ガーデンづくりが今年の春から進行中。皆さんの力を合わせて天女が舞い降りる素敵なガーデンを作りましょう。

[第2回活動日]10月6日(日)

[時間]13:30~14:30

[集合場所]桜コミュニティ施設(旧桜小学校) 駐車場

★参加申込不要、会場に直接お越し下さい。

★作業のできる服装、水分補給等の準備をお願いします。

★軍手・作業道具は事務局で準備します。

参加記念品として花の球根をプレゼント

[問合せ]湯梨浜町役場企画課 (0858) 35-5311

湯梨浜町 PR 大使 谷本耕治



★湯梨浜町出身歌手谷本耕治さん 全国で活動中! スケジュールや近況、温かく人情味溢れる耕ちゃん

のブログ「人生相場」は要チェック♪

<https://ameblo.jp/koji-tanimoto/>

(問合せ) タニテツプロ合同会社

TEL/FAX 03-3361-3455